

提出済み要望書 2015 年度①9戦後 70 年首相談話（世話人・委員会他）

2015 年 8 月 7 日

内閣総理大臣 安倍晋三 様

国際婦人年連絡会

世話人 山口みつ子

實生 律子

紙谷 雅子

戦後 70 年に向けた首相談話に関して私たち女性の強い要望

国際婦人年連絡会(構成 36 の女性団体)は、国連の提唱する「平等・開発・平和」な社会の実現を目指して活動しています。

安倍首相が今年 8 月に発表予定とされる戦後 70 年に向けた談話について、私たちは次のように考えます。

過去の植民地支配と侵略を認め、反省とお詫びを表明した村山談話は、日本政府が歴史認識を示した代表的な談話です。このたびの安倍首相の談話においても、過去の歴史を直視し、なぜこのような誤りをしたのか率直な反省の上に立ち、歴史的事実は認め再び過ちは繰り返さないとする決意を表明すべきです。旧日本軍の「慰安婦」問題をめぐっては、歴史研究の専門家による国内 16 団体の指摘する通り、日本の加害の事実を認め、被害者と誠実に向き合う決意を示し、歴史研究と教育を通して「慰安婦」問題を記憶にとどめ、過ちを繰り返さない姿勢を国際社会に示すことは不可欠です。

閣議決定されたか否かの形式ではなく、日本を代表する安倍首相の談話が植民地支配や侵略の被害に遭った人々、とりわけ「慰安婦」とされた人々の心に今なお癒えない傷を残していることに思いを馳せ、歴代の内閣が継承してきた談話から一歩たりとも後退することがないこと、加えて日本は、人権を尊重し戦争をしない平和国家としての歩みに向けて進む決意を表明して下さい。